

イノシシにいつまでも負けないための WM 柵の管理チェックシート

WM 柵の侵入防止効果を十分引き出し、継続させるためには・・・

- ① 柵の設置は被害対策のスタートライン
- ② 補修や補強をしなければ柵の効果は低くなる
- ③ 見回りはイノシシ目線でなるべく柵の外周を歩いて見る
- ④ くたびれないようにメリハリをつけて省力的に管理する
- ⑤ WM 柵を防護だけではなく捕獲にも活用する

1. 何のために防護柵を張ったのか、地域で柵を見つめなおす



山や藪が柵の内側にある

- × 山 (管理されていない山林・竹林)
- × 作付けしていない田畑



作物だけが柵の内側にある

- 農作物
- 作付けしている田畑

効果が高い柵の設置場所

- 日常的に目の届く場所 (農地の周辺など)
- 作業がしやすい場所 (設置や管理作業、農作業)
- イノシシの目線で柵が高く見える場所 (ほ場近くの平坦な場所)
- 水路や道路に分断されない場所 (適切な区画に分ける)

防護柵は農作物や農地を守るための対策の一つとして設置します
防護柵を張ることが目的とならないように注意しましょう！

2. 侵入されたからといって柵は効果がないと諦めれば、イノシシの思うつぼ



侵入された箇所をそのままにしている



侵入された箇所はすぐにふさいでいる

柵を破られた時にすること

- 侵入箇所はすぐに補修や補強して二度目の侵入を防ぐ
- 何度も侵入される場合は、柵は壊せることを覚えたイノシシを捕まえる (同じ場所から侵入する傾向がある)

防護柵を壊せる、通れるということをイノシシに学習させないこと！

3. 藪などで外側が歩けなくなっている柵は侵入される可能性大



□ 柵の周辺が草に覆われている

- × 藪があって柵の外側が歩けない
- × 柵に草がからみついている



□ 柵の周辺の草が刈られている

- 柵の外側を歩いて回れる
- 柵と地面の間が見える

柵の周辺の見通しを良くすることが、侵入防止効果を高める

柵の外側を歩く効果

- イノシシの接近が分かる (柵への接近や掘起し等)
- 侵入された場所や侵入されそうな場所に気付ける
- 草を踏みつけることで、イノシシの警戒心を高めることができる

ヤギやウシに草を食べさせて省力的に草を管理する方法が県内で取組まれています

4. いつ頃が被害を受けやすいかを考えて、イノシシの先回りをする



□ 被害発生時期がわからない

- × 気付いたら被害が発生している
- × 毎年同じ頃に被害にあっている
- × 被害を受けてから柵を見回る



□ 被害発生時期がわかっている

- 被害発生前に集中的に柵を見回る
- イノシシの接近にすぐに気付いている
- 毎年時期を決めて柵を補修している

被害対策は農作業の一つです！栽培暦に組込んで、毎年被害を防ぎましょう！！

イノシシの学習能力に勝つ

- エサのある時期や場所を覚えるため、イノシシが周辺に出始める頃に集中的に柵を見回しましょう
- 農作物に依存するイノシシから減らしましょう (農作物は高栄養のエサだということを認識する)

5. イノシシをやっつける舞台は揃っています！！



□ 柵を設置してもわなをかけていない

- × 柵周辺をイノシシがうろちよろしている
- × 地域にわな免許所持者がいない



□ 柵を設置してわなもかけている

- 柵周辺に出没するイノシシを捕獲している
- 地域にわな免許所持者がいる

柵を張ったら捕獲が進む

- 柵でイノシシの動きをコントロールできる
- 農作物を食べさせないことで、わなの寄せエサの誘引効果が高まる
- 柵を設置した技術や体制が捕獲活動に役立てられる

防護は捕獲に通じる！！総合対策の相乗効果を得るようにしましょう